

野依特別教授と李 遠哲名誉博士の高等研究院名誉院長への就任が決定

本学国際諮問委員会（インターナショナル・アドバイザーボード）の委員も務める野依良治本学特別教授（理化学研究所理事長）及び李 遠哲本学名誉博士（前台湾中央研究院院長）が、本年4月1日より、名古屋大学高等研究院名誉院長に就任することが決まりました。同職への就任を依頼するにあたっては、平野総長が両氏に直接お願いにあがり、李博士への依頼の際は、台湾まで出向きました。

高等研究院は、本学における最高水準の研究活動を推進し、世界的に卓抜した研究成果を挙げるとともに、本学の目指す理想的な学術研究のあり方を実現するための機関で、平成14年4月の創設以降、様々な世界的水準の研究及び萌芽的研究の支援を行っており、目下、新たに「高等研究院研究者育成特別プログラム（日本型テニユアトラック制度）を実施しています。ノーベル化学賞受賞者であり世界的に著名な両氏より、国際的視点からの助言をいただき、本学をさらに発展させるとともに、同研究院がアカデミーとしての役割を發揮できるよう活動を充実させていく予定です。

高等研究院名誉院長 略歴

野依良治 博士（Ryoji Noyori）

1972 名古屋大学教授、1997 名古屋大学理学研究科長
2003 理化学研究所理事長、2004 名古屋大学特別教授
2000 文化勲章受章、2001 ウルフ賞受賞
2001 ノーベル化学賞受賞

李 遠哲 博士（Yuan Tseh Lee）

1973 シカゴ大学教授、1974 カリフォルニア大学教授
1994 台湾中央研究院院長
1986 ノーベル化学賞受賞、1986 米国科学メダル受賞
2003 名古屋大学名誉博士